

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		特定健康診査事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010701000395
		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助		030201
政策体系	総合計画の施策名	0107	社会保障制度の健全運営					所属課	国保年金課
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり					課長名	
	施策名	07	社会保障制度の健全運営					グループ	国保年金G
	手段名	01	①医療保険制度の充実					担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	国民健康保険特別会計			
	02	06	02	01	01	特定健康診査等事業			
法令根拠	桜川市国民健康保険条例第10条					単年度繰返し (平成20年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>平成20年度より、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加傾向であり、死亡原因でも生活習慣病が約6割を占めている状況になっていることから、生涯にわたって生活の質の維持・向上のために、糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の発症、あるいは重症化や合併症への進行の予防に重点を置いた特定健診 (いわゆるメタボ健診) が開始された。</p> <p>対象は、40歳から74歳の被保険者であり、健康の保持増進、疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣の改善を目的としている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診券の発送。 住民健診が円滑にできるよう健康推進課や関係機関と連携。 健診結果を受診者へ送付。 医療機関、健診協会、国保連合会等への支払。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診券の発送。 住民健診が円滑にできるよう健康推進課や関係機関と連携。 健診結果を受診者へ送付。 医療機関、健診協会、国保連合会等への支払。 	受診者数 (全体)	人	2,222.00	2,288.00	2,300.00	2,300.00	2,300.00
	住民健診		2,080.00	2,150.00	2,150.00	2,150.00	2,150.00
	個別健診 (R5実績: 4/15時点登録分)		142.00	138.00	150.00	150.00	150.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
40歳から74歳の被保険者	40歳から74歳までの被保険者 (年報)	人	7,642.00	7,191.00	7,000.00	6,800.00	6,600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
被保険者の健康の保持増進、疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣の改善を目的とし、健診結果によって保健指導を実施することで疾病の重症化を防ぐこと。	特定健診受診率	%	29.08	31.81	32.86	33.82	34.84
	※3/14時点		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定総投入量
	国庫支出金 県支出金 地方債 使用料・手数料 その他 一般財源	千円	5,706	7,026	7,026			
		千円	5,706	7,026	7,026			
		千円	0	0	0			
		千円	0	0	0			
		千円	0	0	0			
		千円	16,083	16,608	28,982			
	事業費計 (A)	千円	27,495	30,660	43,034			
	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	321		07 報償費	396	
	10 需用費	607		10 需用費	672	
	11 役務費	1,160		11 役務費	2,105	
	12 委託料	28,572		12 委託料	39,861	
	合計		30,660	合計		43,034

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	40~74歳までの被保険者に対し、特定健診の受診環境を整え、受診率を向上させる。	40~74歳までの被保険者に対し、特定健診の受診環境を整え、受診率を向上させる。	40~74歳までの被保険者に対し、特定健診の受診環境を整え、受診率を向上させる。

事務事業名	特定健康診査事業	事務事業No.	10701000395	所属課	国保年金課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成20年度より、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加傾向であり、死亡原因でも生活習慣病が約6割を占めている状況になっていることから、生涯にわたって生活の質の維持・向上のために、糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の発症、あるいは重症化や合併症への進行の予防に重点を置いた特定健診（いわゆるメタボ健診）が開始された。新型コロナウイルスの影響により、住民健診が予約制となった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 国保被保険者の健康の保持増進と疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣の改善を目的としていることから結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国保被保険者の健康の保持増進と疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣の改善を目的としていることから妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 国保被保険者の健康の保持増進と疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣の改善を目的としていることから事業としての成果向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 国保被保険者の健康の保持増進と疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣の改善を目的としていることから影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に手段がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 法令による基準に基づく事業であり、最小限の従事時間であることから削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 国保被保険者の健康の保持増進と疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣の改善を目的としていることから公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 令和5年度と比較し、追加健診や受診勧奨の実施により、受診者数は増加した。引き続き、受診勧奨や周知広報を実施し、健診受診者が減少しないようにしたい。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>	
---	--	---	--